

# ほほえみ

笠間市  
文化協会  
会報

## 第15号

発行日 平成31年3月1日

編集・発行 笠間市文化協会  
発行責任者 会長 枝川良雄  
事務局 TEL 0296-78-0948



スクエアステップ・リーダー会



茶道研究会



コットンクラブ花いちもんめ



プチ盆栽講座



友部短歌会



友部俳句会



わび茶



映像でわが町をつくる会



笠間市合唱連盟

## You・遊文化スクール参加団体

### もくじ

- 第11回 You・遊文化スクール…………… 2 P～5 P
- 加盟団体紹介…………… 5 P～6 P
- 研修視察報告…………… 6 P～7 P
- 茨城国際音楽アカデミー inかさま情報 編集後記…………… 8 P



「わあ、可愛い。しじみの殻で作るの、私も作りたい！」と声を掛けて頂き、子供から大人まで多くの方々に参加して頂きました。しじみの大きさに驚きながら殻に布を張り、上下二枚の間に口・尾を挟み合わせて閉じ、目を付け

### しじみの殻で すずめの親子を作ろう

も全ておもてなしできました。多くの先人達が時を費やして出来た日本の伝統文化の茶道です。一緒に楽しんで下さった方々、ありがとうございました。また来年もお逢い出来ます様に。興味をお持ちになられた方、一度ご一緒に体験してみませんか？

(茶道研究会 渡辺 米子)

いねいにおとし、盆栽用の土を入れた鉢に植えた。今回は子ども達の参加が多く、親子で協力しながら鉢に植える様子がほほえましかつ



盆栽用苗木の「真相」を小鉢に植えて、コケをはり、ミニ盆栽をつくった。底あみは会員が事前に付けておき、できるだけ短時間で仕上がるようにしておいた。苗は好みの物を各自選び、ポットの土を根をいためないようにして

### ミニ盆栽をつくろう

て出来上がりです。意外と作りやすく、いろいろなすずめの親子が仕上がりました。今回もYou・遊文化スクールに参加し、体験して頂いた方々とふれ合い、楽しく作ることが嬉しかったです。身近な材料で、これからは沢山小物作りをして行きます。皆様の参加をお待ちしております。

(コットンクラブ 花いちもんめ 安藤 和代)

「楽しい勉強ができた」の言葉が嬉しい。当日テキストとした『入選作品集』から、「特選」の作品を紹介する。

(友部短歌会 深井 雅子)

小・中・高8校から短歌作品七〇首の応募があった。事前に選考会を行い、73首の入選作品を選び歌会を行う。出席者は、保護者を含め24名。講師の磯田ひさ子先生と友部短歌会のスタッフが会を進めた。例年より参加者が少なかったことは残念。しかし、歌会が始まり緊張が解けると、活発な発言が続いた。歌会の後、参加ジュニア達から

### ジュニア短歌大会

た。自宅に持ち帰っても家族で協力しながら育ててほしい。そして子どもたちから植物を育てる楽しみを味わい、自然に親しみ、自然を愛する心をやしな



(プチ盆栽講座 安見 迪生)

よういどん始まる前のきんちようは走った後に笑顔に変わる

次会う時は手のひら比べ

友部二小六年 宮川 遙名  
友部二小六年 菱沼 春樹  
友部二小六年 根本 尚輝  
友部二小六年 関本 優里  
友部二小六年 野口 喜生  
友部二小六年 河野 友哉  
友部二小六年 菅野 結斗  
友部二小六年 橋本 美月

友部二小六年 野口 喜生  
友部二小六年 河野 友哉  
友部二小六年 菅野 結斗  
友部二小六年 橋本 美月

### 短歌大会優秀作品

友部高一年 鈴木 健斗  
選手権セミがよく鳴く会場でくやししく散った平成の夏  
友部中二年 菅野 結斗  
宿題を友と考える学んでく答えは遠い地平線のよう  
友部中二年 橋本 美月  
それぞれの思いを胸につないでいく  
学級カラーの緑のバトン  
友部中二年 野口 喜生  
初夏の風キラリと光るバットの先  
ボールが消えて快音響く  
友部二小六年 河野 友哉  
あてもなく自転車をこぎ街を駆け張り付く汗に喉がべたつく  
友部小六年 関本 優里  
夏の朝トマトがピカツとかがやいて  
ばあちゃん特製トマトジュース  
友部小六年 根本 尚輝  
そのときの思い出でくるアルバムは  
未来見えない不思議な本  
友部二小六年 菱沼 春樹  
夕立の雲のすきまに竜が飛ぶおどろき母と笑う夏の日  
友部二小六年 宮川 遙名



## 第11回 You・遊文化スクール



第11回「You・遊文化スクール」が昨年の11月11日(日)に友部公民館で9団体が参加して開催されました。



就任のあいさつ  
笠間市文化協会  
会長 枝川 良雄

昨年6月の総会で郡司勝文会長の退任と新会長が承認されました。文化協会は、前身の協会が昭和57年に設立。市町合併後の平成20年に新たに設立され「会員それぞれの活動を通して、市民の皆様とともに地域の文化の進展と交流を図る」ため活動を続けています。You・遊文化スクールや研修視察、会報の発行を主な事業に、国際音楽アカデミーや公民館まつり、各種の文化関係事業に参加協力・支援を行っています。歴代の皆様の思いを受け、活動が健康で明るい市民生活の一助となるべく、会員市民の皆様との参加とご協力をお願い申し上げます。

文化協会役員・編集委員 紹介

- 会長 枝川 良雄
- 副会長 大越 尚武
- 兼事務局長 今井みどり
- 監事 太田すみ枝
- 会 計 深井 雅子
- 書 記 安達 雅子
- 顧 問 鈴木 義雄
- 顧問 郡司 勝文
- 編集委員 西山 智子

### スクエアステップ・ お手玉体験

さわやかな秋晴れの中、公民館体育室にて「スクエアステップ」と「お手玉ゲーム」の体験会を行いました。

お客様の中には、ひたちなか市の家族連れや中学生男子もいました。男性ダンベルの会員の応援もあり47名の参加者が、体を動かし、大声で笑い、適度な汗をかいて日頃のストレスを発散させました。笠間市スクエアステップは、会員数六一九名、リーダーは二二一名で活動しています。このサークルに参加する事により、下肢筋力、歩行能力、柔軟性、バランス能力、反応性など日常生活の動作を円滑に行うのに必要な身体能力、体力向上に効果的です。

興味のある方は、一度体験して



みて下さい。お待ちしております。

(笠間市スクエアステップ  
リーダー会  
友部支部 後藤ミチ子)

### 茶の湯を立礼棚で

今回も参加させていただきました。気軽に寄っていただけられる様に立礼(りゅうれい)棚を設え、季節の花も活け、お客様をお待ちしました。

「お茶は、作法を知らないのだから」と通り過ぎる方、「今年も来ました」とお席で待つ方、お菓子とお抹茶を一口含んで「美味しい」とこり。お客様の気軽な質問に答えながらの交流も。午

前中だけで終わりましたが、用意した百個のお菓子







### しじみの殻ですずめの親子を作ろう

「わあ、可愛い。しじみの殻で作るの、私も作りたい！」と声を掛けて頂き、子供から大人まで多くの方々に参加して頂きました。しじみの大きさに驚きながら殻に布を張り、上下二枚の間に口・尾を挟み合わせて閉じ、目を付け

も達の参加が多く、親子で協力しながら鉢に植えつける様子がほほえましかつ



### ミニ盆栽をつくろう

盆栽用苗木の「真柏」を小鉢に植えて、コケをはり、ミニ盆栽をつくった。底あみは会員が事前に付けておき、できるだけ短時間で仕上がるようにしておいた。苗は好みの物を各自選び、ポットの土を根をいためないようにして

た。自宅に持ち帰っても家族で協力しながら育ててほしい。そして子どもたちから植物を育てる楽しさを味わい、自然に親しみ、自然を愛する心をやしな

### ジュニア短歌大会

小・中・高8校から短歌作品七〇首の応募があった。事前に選考会を行い、73首の入選作品を選び歌会を行う。出席者は、保護者を含め24名。講師の磯田ひさ子先生と友部短歌会のスタッフが会を進めた。例年より参加者が少なかったことは残念。しかし、歌会が始まり緊張が解けると、活発な発言が続いた。歌会の後、参加ジュニア達から「楽しい勉強ができた」の言葉が嬉し

友部二小六年 宮川 遙名  
友部二小六年 菱沼 春樹  
友部二小六年 宍戸 智義  
次会う時は手のひら比べ

友部二小六年 根本 尚輝  
友部二小六年 関本 優里  
友部二小六年 野口 喜生  
友部二小六年 河野 友哉  
友部二小六年 菅野 結斗  
友部二小六年 橋本 美月  
友部二小六年 喜生

### 短歌大会優秀作品

友部高一年 鈴木 健斗  
選手権セミがよく鳴く会場でくやし



## 第11回 You・遊文化スクール



第11回「You・遊文化スクール」が昨年の11月11日(日)に友部公民館で9団体が参加して開催されました。



就任のあいさつ  
笠間市文化協会 会長 枝川 良雄

昨年6月の総会で郡司勝文会長の退任と新会長が承認されました。文化協会は、前身の協会が昭和57年に設立。市町合併後の平成20年に新たに設立され「会員それぞれの活動を通して、市民の皆様とともに地域の文化の進展と交流を図る」ため活動を続けています。You・遊文化スクールや研修視察、会報の発行を主な事業に、国際音楽アカデミーや公民館まつり、各種の文化関係事業に参加協力・支援を行っています。歴代の皆様の思いを受け、活動が健康で明るい市民生活の一助となるべく、会員市民の皆様に参加とご協力をお願い申し上げます。

- 会長 枝川 良雄
- 副会長 大越 尚武
- 兼事務局長 今井みどり
- 監事 太田すみ枝
- 会 計 深井 雅子
- 書 記 安達 雅子
- 顧 問 鈴木 義雄
- 顧問 郡司 勝文
- (編集委員) 西山 智子

### スクエアステップ・お手玉体験



さわやかな秋晴れの中、公民館体育室にて「スクエアステップ」と「お手玉ゲーム」の体験会を行いました。お客様の中には、ひたちなか市の家族連れや中学生男子もいました。男性ダンベルの会員の応援もあり47名の参加者が、体を動かして、大声で笑い、適度な汗をかいて日頃のストレスを発散させました。笠間市スクエアステップは、会員数六一九名、リーダーは二二一名で活動しています。このサークルに参加する事により、下肢筋力、歩行能力、柔軟性、バランス能力、反応性など日常生活の動作を円滑に行うのに必要な身体能力、体力向上に効果的です。興味のある方は、一度体験して

みて下さい。お待ちしております。  
(笠間市スクエアステップ リーダー会 友部支部 後藤ミチ子)

### 茶の湯を立礼棚で



今回も参加させていただきました。気軽に寄っていただけの様に立礼(りゅうれい)棚を設え、季節の花も活け、お客様をお待ちしました。「お茶は、作法を知らないのでも」と通り過ぎる方、「今年も来ました」とお席で待つ方、お菓子とお抹茶を一口含んで「美味しい」とこり。お客様の気軽な質問に答えながらの交流も。午

No.	団体名	活動内容	活動日時・活動場所
11	琴春会(大正琴琴伝流)	年4回の福祉センターでのボランティア、全国大会、茨城大会、各地区の敬老会、門下生一同の発表会等活動。	第1・3水曜日 岩間公民館
10	せせらぎ俳句会	毎月1回俳句会(投句5句)、年数回の吟行会を開催。	第1・3土曜日 13時半 笠間公民館
9	常陽水墨会	水墨画を通して教養を深め、親睦を図る。東京の美術館で年2回発表、市図書館にて年1回発表。	第2金曜日 友部公民館
8	(社)日本盆栽協会笠間支部	普及事業(プチ盆栽講座、講師派遣)研究会、講習会の開催、展示会、見学会(年2回)の実施、関係団体への参加・交流。	随時 会員宅持ち回り
7	茶道研究会	友部公民館まつり・偕楽園茶会に参加する。	第3土曜日 9時 友部公民館
6	コトソングクラブ 花いちもんめ	手芸、手さげづくり、パッチワーク等を製作している。	第2土曜日 13時 笠間公民館
5	技芸(個人)	友部特別支援学校へ水墨画、版画等を常時展示している。	友部公民館
4	笠間市スクエアステップ・リーダー会	筑波大学大学院の大蔵倫博教授の研究室が開発した新しい運動「スクエアステップ」を行うことによる、転倒予防、認知症予防等の介護予防。	各公民館
3	笠間市将棋愛好会	A・B・C級クラス別勝敗を競う。年1回公民館主催大会を行い、笠間市囲碁・将棋大会に参加している。	原則第4日曜日 9時 笠間公民館
2	笠間市合唱連盟	笠間市内の7団体で構成し、年1回の合唱祭を開催する。合唱音楽の芸術性を追求し、合唱の公演、発表活動を通じて地域社会の芸術文化の向上を図る。 (合唱団名) マーガレット・エコー 女声コーラス・華 女声合唱団コール・ポップリ ひまわりコーラス 女声アンサンブル・萌 笠間少年少女合唱団 笠間市民合唱団	各公民館
1	映像でわが町をつくる会	失われゆく伝承行事・神事・芸術文化・地場産業その他を後世へ記録保存し、継承するためと会員自身の製作技術の向上を目的とし、多数の人たちと交流し、親睦を図る。記録は市立図書館に保存。閲覧可。	活動日時・活動場所 第3日曜日ほか随時 14時 映像スタジオ

### 笠間市文化協会加盟団体

(平成30年4月現在)

### 和洋楽器体験教室

今回は、マリンバ(大きな木琴)を体験しました。  
講師である中野伊鈴さん、そして伊鈴さんのご両親のご協力により、マリンバを組み立てるところから見せて頂きました。音の出し

方では、マリンバを一周しながらの音を体験させて頂きました。終始笑顔で、中学生の男子から幼い女の子たちまで丁寧な指導。そして何度かのピアノとの模範演奏。ドアから洩れる美しい音色を聞きつけて、会場に足を運んでくれた参加者も多数いました。  
こんなことがきっかけで楽器や

音楽と一生かかわっていったとしたら、素晴らしいことですね。  
楽器や音符に苦手意識のある人たちにも、そのハードルを取り去る、とてもよい機会になったと思います。  
(笠間市合唱連盟 阪場 博子)



### 子ども俳句大会

友部地区の小中高生の俳句を集めた大会では、事前の応募作七百余句の中から五十句を選び、作品集「入選五十句」の発行と表彰を行いました。  
また、俳句体験の時間では、全員で公民館の庭へ出て、菊やばらや銀杏の葉などを見ながら即興の俳句づくりに挑戦。室内に戻ってからは、作ったばかりの俳句(無記名)の中から好きな作品を三つ選んでみるというミニ句会の雰囲気を楽しみました。  
(友部俳句会 鈴木 義雄)



大原小六年 戸田せんり  
秋がきて妹の顔ながめると野花でけしよ秋色してる  
北川根小六年 赤津みやび  
あきぞらにハッピがなびくソラ  
ン節かまえの声がおおきくひびく

### 俳句大会入選作品

大原小五年 小松 璃乙  
つゆになるかえるの親子とびはねる  
北川根小五年 尾崎 幹太  
冬の息まつ白な息とんでいく  
六戸小五年 井川 太陽  
ブンブンとまわれよまわれ扇風機  
友部小五年 倉橋 優綺  
作文とにらめっこする夏休み  
友部二小五年 杉山 心音  
鬼は外今年の鬼はお父さん  
友部中三年 根岸光太郎  
なのはなや筑波のふもと黄に染めて  
友部二中三年 大田 李葉  
せのびして李(すもも)にちいさなてをのばす  
友部高一年 深澤 小温  
冬にでる吐息自分がある証



### 茶の湯体験

和室でお茶を点てる。なかなか出来ない体験だと思えます。  
足を踏み入れることを躊躇って

「またやってみよう」と嬉しい言葉や、「お父さんも遠慮がちに参加してくれました。」とお友達やサークルの仲間など多くの方々に参加して頂き、帰りには「体験できて良かったです。」の言葉にホッとさせられました。  
お茶を点てるということは、日常生活ではなかなかできないかと思えますが、若い世代の方々にも日本の伝統文化に触れて頂きたいと願っています。  
(わび茶 横手ひろ子)



### まゆ玉コロコロ・人形工作会

今回は、まゆ玉を材料に動くおもちゃ「まゆ玉コロコロ」と「人形や動物」をつくる工作会を開催し、手づくりの楽しいひとときを過ごすことができました。  
参加者は、子どもたちや親子、一般参加者31人で満席となりました。形の整え方や接着の工夫、転がすための角度の設定など、ものづくりに必要な発想や工夫を凝らして思い思いの作品ができました。  
担当した会員も事前にもどの様にお手伝いできるかを考え準備して、参加者の様子を見ながら楽しく進めることができました。参加者の笑顔に力を頂きました。  
ものをつくる楽しみの体験会に、ご協力いただきました皆様にご感謝申し上げます。  
(映像でわが町をつくる会 枝川 良雄)



12	友部写友会	四季に合わせて桜、あやめ、紫陽花、紅葉、夕景夜景、雪景色などを対象に月1回撮影会。作品の講評会を行い会員のレベルの向上を目指している。	第1・3金曜日
13	友部短歌会	月1回定例会を開催し、お互いの短歌を批評しあい、向上と親睦を図る。会員以外の方も参加可。	第2水曜日 13時
14	友部俳句会	月1回の定例会を開催し、各会員の作品を持ち寄り、相互研究をして、俳句文芸の向上と会員間の親睦を図る。	友部公民館 原則第4日曜日 13時
15	日本舞踊(竹水千弘)	仲間と一緒に年に数回各地の老人ホームを訪問している。	随時
16	日本舞踊(梅香・中村流)	老人ホームなど施設慰問を中心とした活動をしている。	友部公民館、笠間公民館
17	日本舞踊 太純乃会	伝統文化活性化国民協会の委託を受けて、伝統文化こども舞踊教室を開催。基本動作の「菊づくし」を教えると同時に礼儀作法(立ち居ふるまい等)も教えている。	水・金・土曜日 個人宅
18	プチ盆栽講座	日本盆栽協会笠間支部会員の指導を受けながらプチ盆栽づくりを楽しみ、技術の向上と親睦を図る。	個人宅
19	民謡民舞連合会	民謡・民舞を通して、健康の維持増進に努め会員相互の親睦と融和を図ることを目的とする。	第2水曜日 19時
20	名曲を楽しむ会	主にクラシック音楽を中心として、CD等による名曲鑑賞会を開催し、心安らぐひとときを提供する。	笠間公民館 第2・4水曜日
21	わび茶(表千家)	茶道表千家の流れを楽しむ。公民館まつりや北山公園の桜まつりにも参加。	旧陣屋コミュニティセンター 第3日曜日 13時半
22	Brother Beats	兄弟による、マーチングテナードラムパフォーマンスユニット。主にマーチングバンドで使用されるテナードラムだけを使い、パフォーマンスを行う。メンバーは国内のみに留まらず、海外でも実績を残している。	友部図書館視聴覚室 木曜日 友部公民館 市内外の演奏会・イベントに出演

### 笠間市文化協会 研修視察報告

#### 国立歴史民族博物館

#### 研修視察に参加して

廣水 一眞

平成三十年十月三日(水) 佐倉市・国立歴史民族博物館《歴博と

省略》への研修視察に、初めて参加させてもらった。

友部と笠間の公民館を廻り九時過ぎに友部ICから高速道路に入る。幸いにも天候にも恵まれ、一路佐倉の歴博へと快適な車中での時間を過ごせた。

歴博へ到着後(十一時十五分頃)全員で記念写真を撮る。その後入館して昼食をとる。

食後に玄関ロビーへ再度集合して、帰る時の集合時間の確認をし、第二展示室から見学を開始した。全展示室は第六展示室迄ある。

第二展示室に入ると、『王朝文化』のゾーンにあたり、十二世紀末頃の貴族の邸内の一部が復元されていた。王朝文化の煌びやかさを感じた。

次のゾーンには、『板碑』と、

一二七七年鑄造の『薬師如来座像(複製)』が展示されていた。重量感のある柔和な顔の薬師如来坐像に見とれてしまった。板碑は『板状の石に梵字などを刻んだもので、東国の顕著な文化遺産である。』と説明されていた。

鎌倉時代(一一八五年〜一三三三年)の東国武士の信仰生活の一面でもあるのかと想像した。

十六世紀の文化の一つの棹秤さわばかりの権。鉄製の分銅である。『商取引で目方をはかる棹秤に利用された《分銅》で、様々な型があるが、今も表面に漆が少し残っている。分銅の重量が変化しないように、表面の腐食を防ぐために塗られたのだろう』と、説明されていた。

『民衆の生活と文化ゾーン』では、大鋸挽おがひきが展示されており、その鋸の大きさに驚いた。説明の看板によると、『室町時代(一一三三六年〜一五七三年)初期に、中国から導入された縦挽き鋸と言います。建築界に一大革新をもたらした』と記されていた。現在の製材業の始まりとなったのかなア・・・。木目に対して直角に切る横引き鋸は、古墳時代(三世紀中頃〜七世紀頃)からあったとのこと。

第三展示室に向かう。パンフレットを見ると、近世(十六世紀末〜十九世紀半ば)の文化や生活の紹介がされている。木製の顕微鏡が展示されていた。『展示のものは製作地不明であるが、順天堂大学伝来のものの複

製である。』と説明されていた。

十八世紀後半に登場した北前船(展示縮尺十分の一)は、大坂など上方と蝦夷地をつなぐ長距離の大量輸送も可能となった。

第三展示室から通路へ出て時計を見たら一時二〇分である。集合時間が迫っていた。まだ三ヶ所の展示室が残っているが・・・。

第四展示室の入室をあきらめ通過したら、回廊に並ぶ石碑が目に入った。急遽方向をそちらの方へ変更し『碑の小径』に向かう。

日本三古碑の一つ『那須国造碑(又はナスコクゾウヒ)』に巡りあえた。碑は大田原市(旧湯津上村)にある古碑で、石碑の材質は本体・笠石とも花崗岩とあった。飛鳥時代(七百年)に建立されたもので一九五二(昭和

二七)年に国宝に指定された。

延宝四年(一七六七年)僧侶・円順から報告を受けた領主の光圀公が、笠石神社を創建し、碑の保護を命じた。現在は御堂内に御神体として碑が祀られ崇敬されている。

碑に刻まれた全文は、一行一九

文字で八行の一五二文字が刻まれている。

『多胡碑』(レプリカの展示碑)も同じように並んでいた。この碑は高崎市に存在する古碑で、一九五四(昭和二九)年に国の特別史跡に指定されている。やはり日本三古碑の一つで、建碑は七一一(和銅四)年となる。碑身・笠石・台石からなり、材質は牛伏砂岩とある。

サイズは高さ125cm、幅60cmの四角柱で、前面に六行八〇文字が楷書で刻まれている。

『山上碑』・『金井沢碑』の古碑二点がある。この会場の多胡の碑の傍に展示されていたのに疑問を感じ、念の為傍にあった看板の説明文を、写真に撮り、帰宅後データを確認したら、多胡碑を含め『上野三碑』と記されていた。

『山上碑』は六八一年に建立され、碑文は四行にわたり五三文字が丸彫りされている。『金井沢碑』は七二六年に建立され、碑文は九行一二文字が刻書されている。

上野三碑はともに一九五四(昭和二九)年に、国指定の特別史跡に指定されている。

阿波国造碑は、徳島県の古碑で、造立時期は七三三年、石製ではなく埴はという煉瓦状の焼き物である。大きさは縦一九・八寸、横一七・四寸、厚さ一〇寸の瓦質の埴造り。碑面は上半部と下半部で摩耗度と色調が異なり、碑の上下に臍状さじの突起があった。

日本三古碑のひとつ『多賀城碑(宮城県多賀城市)』は展示されておらず残念であった。因みに建碑は七六二(天平宝字六)年となる。

今回の研修視察で古碑の数々を見るのができ最高の日となった。後日時間をつくって再訪してゆつくり観賞してみたい。





# 第15回 茨城国際音楽アカデミー in かさま *Final*

ありがとう、15年間の感謝をこめて 2019 3.21(木)祝～3.28(木)

## 茨城国際音楽アカデミーinかさま 第15回記念公演 スペシャル・ガラ・コンサート 120分公演

アカデミー第15回を祝うガラ・コンサート  
ピアノはオール・ショパン・プログラム、そしてヴァイオリンの華やかな競演

**3.21(木)祝** 笠間公民館 大ホール (茨城県笠間市石井2068番地1)

14:00開演 (13:30開場) 一般 1,500円 / 高校生以下 1,000円

出演：ザハール・ブロン、小川綾子、洞井遼人、田中友梨、千葉水晶、  
立花祐典、渡辺雄雄、後藤麻 (ヴァイオリン)  
青柳 晋、谷澤慧、堀口一朗、森田昌  
イリーナ・ヴィノグラードワ、岡地恵理子 (ピアノ)



ザハール・ブロン  
(ヴァイオリン)  
Zakhar Bron, Violin

第1部 ピアノ・ガラ～オール・ショパン・プログラム  
ショパン：ノクターン第13番  
ショパン：練習曲 Op.10-1  
ショパン：ポレロ  
ショパン：タランテラ ほか



青柳 晋  
(ピアノ)  
Susumu Aoyagi, Piano

第2部 ヴァイオリン・ガラ  
サン＝サーンス：序奏とロンド・カプリチオーソ  
サン＝サーンス：ハバネラ  
エルガー：ヴァイオリン・ソナタ Op.82 ～ 第3楽章  
ヴァイヴァルディ：4つのヴァイオリンのための協奏曲  
ほか

## ミハイル・ヴォスクレセンスキー ピアノ・リサイタル 120分公演

ロシアの大家による本格リサイタル・プログラム

**3.24(日)** 茨城県教育研修センター 大研修室 (茨城県笠間市平町1410)

14:00開演 (13:30開場) 一般 1,500円 / 高校生以下 1,000円

出演：ミハイル・ヴォスクレセンスキー (ピアノ)

モーツァルト：幻想曲 二短調  
モーツァルト：ピアノ・ソナタ 第11番「トルコ行進曲付き」  
ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第8番「悲愴」 ほか



ミハイル・  
ヴォスクレセンスキー  
(ピアノ)  
Mikhail Voskresensky, Piano

### 編集後記

「時間」は昔から哲学者、科学者を悩ませてきた大きな謎の一つであるという。

年齢を重ねるごとに時間の経過がとて速く感じられるのはなぜだろうか？これは私だけの問題ではなさそうである。「今」を生きている我々は、空間は自由に移動できても、時間は決して取り戻せない。ということ少々調べてみようと思いたち、美しく壮大な、時間の姿が見えてくる！というふれこみの本『時間とは何だろうか』(松浦壮著)を読んでみた。しかし、結局はニュートン力学やアインシュタインの特殊相対性理論等を選けて通れず、難しい話になり良く解らなかつた。とにかく、「今」の時間を精一杯生きること考えたい。毎年行われるYou・遊文化スクールは、子供から大人まで誰でも色々なことを体験できるので大変好評である。参加団体もそれぞれに趣向を凝らして新しい試みを考えているようので、今後も続けていきたい。

表記のように、茨城国際音楽アカデミーinかさまも15回を数え、一応今年で終了の予定であるが、文化協会としてもできるだけの協力をしたいと考えている。

(郡司 勝文)